

## 編集後記

「春は名のみの 風の寒さや」で始まる早春賦の歌詞がこれほど実感される年も珍しいのではないだろうか？

この歌詞は信濃大町およびNHKドラマ「おひさま」でおなじみの安曇野あたりの早春の情景をうたった歌とされており、穂高川のほとりには歌碑が立っている。

本来は信州の風景を詠んだ歌詞が東京でもそのように感じられるのであるから、被災地の皆さんの御苦勞はいかばかりであろう。

前号でもお伝えした「東北ボランティア駅伝」は今なお続いており、多くの教職員、学生の皆さんが参加している。

駅伝といえば今年の「箱根駅伝の神奈川大学の鶴見中継所の襷を繋ぐシーンは涙モノでした」というメールを知人からもらった。やはりマスクの力は大きいと再確認した次第である。駅伝だけでなく「東北ボランティア駅伝」のような地道な活動が続けられているのも知ってもらえれば良いのだが。

今号は柳田先生の退任記念号にあたる。経営、会計はもとより、語学、文学、体育など様々な分野から寄稿していただいた。特別寄稿として柳田先生はじめ、学外からも多くの玉稿が寄せられた。先生の研究者ならびに教育者としての大きな御業績の一端が窺える。

編集子は専門は全く違うが、ドイツ留学された経験を持つ先生と、ドイツ繋がりということで、いろいろとお世話になった。いつも穏やかに接して下さる先生だが、編集子が就任したばかりの頃ひどく叱られたことがある。

確かどこかの大学の入試問題が漏洩したというニュースがあった頃だったと記憶している。当然とはいえ、本学では入試問題が外部に漏れないように大変厳格に取り扱っているのであるが、「神奈川大学の問題なんて誰も欲しがりませんよ」と軽い冗談のつもりで言ったところ、「そんなことはありません」と本気で怒られた。その時先生は本当にこの大学を愛していらっしゃるのだなと感じた。そんな愚かな教員は他にいないと思うが、もし誰かが当時の自分と同じようなことを言ったら、編集子もきっと先生と同じことを言うと思う。

先生は俳句の名手でもあられた。俳句ではないが、編集子が昔詠んだ独吟の連句を添え、先生のますますの御健勝と御活躍をお祈りし、編集後記に代えさせていただく。

初花の見え隠れする幼稚園  
北窓開くコーヒーの朝

(ひな祭りの日に記す)

(編集委員 ◎小澤幸夫・真鍋明裕)

◎文責

### 〈執筆者紹介 (掲載順)〉

- 柳田 仁 経営学部教授  
竹森 一正 中部大学教授  
張本 越 遼寧科技大學工商管理學院助教授  
鈴木和男 遼寧科技大學客員教授  
株式会社KAZコンサルティング  
代表取締役社長  
高瀬 智章 広島国際大学医療経営学部  
医療経営学科助教  
田中 則仁 経営学部教授  
菅原 晴之 経営学部教授  
丹野 勲 経営学部教授  
小島 大徳 経営学部准教授  
荒井 義則 経営学部非常勤講師  
千葉 義信 経営学部非常勤講師  
岡崎 万紀子 経営学部准教授  
大橋 哲 経営学部准教授  
池田 明子 経営学部特任准教授  
和田 忍 経営学部特任助教

### 『国際経営論集』 第43号

禁無断転載

2012年3月31日 印刷

2012年3月31日 発行

発行 神奈川大学経営学部  
編集 『国際経営論集』編集委員会  
〒259-1293 神奈川県平塚市土屋2946  
電話 (0463) 59-4111  
FAX (0463) 58-9688

制作 株式会社 興版印刷  
〒254-0076 神奈川県平塚市新町7-15  
電話 (0463) 32-1899  
FAX (0463) 32-1865